山形県立新庄病院 竣工

地域に信頼と安心を―中核病院機能強化

山形県最上地域唯一の基幹病院として移転改築した県立新庄病院が完成した。地域ニーズに応じた医療や高度・専門医療を提供する役割を充実。患者の療養環境に配慮した建物構成で、ヘリポートを備えた地域救命救急センターの設置や災害拠点病院の機能を強化した。設計・監理は佐藤総合計画Jv、建築施工の安藤ハザマJvを中心とする施工陣のものづくりに対する熱意と高い技術力を結集。県民に信頼され、安心して医療を受けられる拠点病院が10月１日に開院を迎える。

設計・監理／佐藤総合計画・鈴木建築設計・総合設備計画ＪＶ

設計コンセプト

本計画は、施設の老朽化、狭隘化に伴う敷地移転建替プロジェクトとなり、大規模災害時の浸水対策として敷地全体を平均約２ｍ盛土するところから設計をスタートしました。

外観については、「周辺に広がる豊かな山並みに調和し、最上地域の安全・安心の象徴となる病院」をコンセプトに、裾野のように広がり安定感の感じられる基壇部と、山並みに呼応するよう水平性を強調した病棟部とを一体的にデザインし、また建物の顔となる１階正面は、「山型」天井に全面県産スギを施したキャノピーとガラスカーテンウォールにより、来院者を迎え入れる開放性の高い設えとしています。また外壁色は、かつて新庄市で盛んに行われた養蚕の繭の色をイメージして仕上げています。

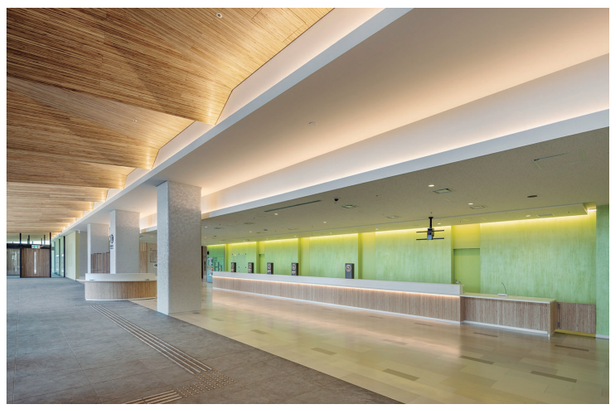
内部計画では、１階は明るく開放感のあるエントランスホールにより動線の見通しを確保するとともに、外来ストリートを軸とした分かりやすい部門配置としています。外来部門は１階ワンフロアに集約することで患者や付添い者の移動負担軽減を図り、また救急部門は建物に隣接する地上ヘリポートと直結し、２階ＩＣＵ・手術部門とも専用エレベーターで直結することで、迅速な治療が可能な計画としています。

内装においては、県産スギ・カラマツをＬＶＬ材（単板積層材）として、天井・壁・家具仕上げに積極的に活用し、院内全体に渡り木を主役に据えた温かみのある仕上げを実現しています。

最後に、利用される全ての方々が、安全・快適な時間を過ごしていただけることを心より願っています。

株式会社佐藤総合計画 東京第２オフィス　滝下 朋和

県産木が主役の温かみのある仕上げ


１階 総合受付

１階 エントランスホール

１階 総合患者サポートセンター

質の高い医療提供へ

山形県知事　吉村　美栄子

新しい県立新庄病院の開院に当たり、一言、ごあいさつを申し上げます。

県立新庄病院は、1952年の開設以来、長年にわたり最上地域の基幹病院として、安全・安心・信頼の医療を提供してまいりました。一方で建物の大半は75年に建築されたものであり、設備の老朽化などの課題を抱えておりました。加えて、高度化、多様化する医療ニーズに応えられる質の高い医療を提供できるようにするため、医療機能の強化と併せて移転改築を進め、このたび新しい病院を開院する運びとなりました。

新しい病院は、病床数が325床、診療科は28科を有し、また、最上地域では初めてとなる地域救命救急センターのほか、敷地内にヘリポートを整備いたします。さらに、病院本体を免震構造にするとともに、敷地を盛土して想定最大規模の水害の発生に備えるなど、災害時においても必要な医療を提供できるようにしております。こうした医療機能を充実させることにより、新庄病院では将来にわたって最上地域の皆様の命と健康を守り支えてまいります。

結びに、病院の建設に当たりご尽力いただきました工事関係者に対して深く感謝の意を表するとともに、ご協力を賜りました関係者の皆様に感謝を申し上げます。

施工のポイント

目標達成へ人と思いを集結

2023年3月31日、延べ約15万人の労働者が携わりました山形県立新庄病院改築整備工事が完成しました。新病院は地下1階地上6階建てRC造（一部S造）の免震構造。病床数325床、最上地域唯一の基幹病院であり、災害拠点病院としての機能も維持できる施設となっております。

2021年2月28日に安全祈願祭が執り行われ、工事は始まりました。工事を進めるに当たり、施工のポイントは大きく二つありました。一つ目は山形県新庄市が全国でも有数の豪雪地帯だったことです。工事開始時も1・5㍍以上の積雪があり、多積雪の中で工程をどう短縮し、安全に工事を進めていくかでした。

もう一つは病院建設において総合図（施工図）は非常に大事で、図面詳細と内容を詰め工事進捗前に決めるスケジュール管理でした。要点は安全・工程・図面であり、最終的に環境と品質にも繋がります。

冬期の施工は地下水を利用した融雪と消雪、工事中エリアの人力と機械での除雪を関係者全員にご尽力いただきました。そして免震基礎プレキャスト（PCa）化などの工夫により、躯体工事を短縮することもできました。

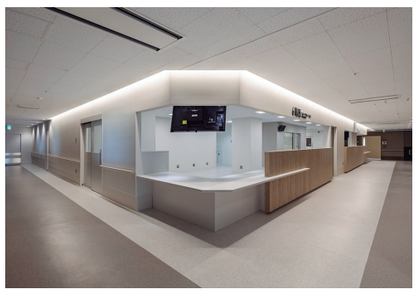
また総合図は、工事関係者や病院スタッフのご協力の下、ヒアリングと打合せを繰り返し実施させていただき、工事を遅延させることなく一つずつ詳細を決めていただき解決しました。工事関係者や病院スタッフの方々が思いを繋ぎ、10月1日に新病院は開院を迎えます。

新病院をより良く安全に使用していただくためにと関係者が一丸となり、同じ目標に向けて進められた「人」と「思い」が、施工のポイントだったのだと思います。ありがとうございました。

安藤ハザマ・大場組・高木ＪＶ
現場代理人　栗林　直輝

工事概要

■工　事　名／山形県立新庄病院改築整備事業
■発　注　者／山形県病院事業局
■設計・監理／佐藤総合計画・鈴木建築設計・総合設備計画ＪＶ
■施　　工／建　　築：安藤ハザマ・大場組・高木ＪＶ
電気設備：ユアテック・東北電化工業・渡会電気土木ＪＶ
衛生設備：新菱冷熱工業・黒澤建設工業・弘栄設備工業ＪＶ
空調設備：三機工業・青山工管ＪＶ
■所　在　地／山形県新庄市金沢720番地の１
■敷 地 面 積／55,582㎡
■構造・規模／病院棟：ＲＣ造一部Ｓ造（免震構造）地下１階地上６階建て延べ25,826㎡
エネルギーセンター棟：Ｓ造地下１階地上２階建て延べ1,074㎡
■病　床　数／325床（地域救命救急センター10床、地域包括ケア病棟50床、一般病棟265床）
■診　療　科／内科、小児科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科、リハビリテーション科など20科以上
■そ　の　他／院内保育所、車庫、駐輪場、倉庫、平面駐車場約850台、地上ヘリポート
■工　　期／2020年４月～2023年７月（造成、外構含む）


６階 西病棟ナースステーション

３階 病室（４床室）

２階 手術室

１階 地域救命救急センター

建築工事　安藤ハザマ・大場組・高木ＪＶ

安藤ハザマ 東北支店
執行役員支店長 宮川隆太郎　山形営業所長 渡辺景一
仙台市青葉区一番町 1-3-1 電話 022-266-8111
山形市本町 2-4-62 電話 023-622-7817

株式会社 大場組
代表取締役 大場宏利
山形県最上郡最上町大字志茂 277-6 電話 0233-44-2424

株式会社 高木
代表取締役社長 高橋恒之
山形県寒河江市大字島字島東 87 電話 0237-86-2165

電気設備工事
ユアテック・東北電化・渡会電気ＪＶ
株式会社 ユアテック
執行役員山形支社長 佐久間章夫
山形市大野目 3-5-7 電話 023-632-3131
電気設備工事設計・施工、空調・衛生・給排水
東北電化工業株式会社
代表取締役社長 會津圭一郎
山形市青田 3-9-18 電話 023-623-0612
株式会社 渡会電気土木
代表取締役 後平 順二
山形県鶴岡市下山添字一里塚 36 電話 0235-57-2454

衛生設備工事
新菱冷熱工業・黒澤建設工業・弘栄設備工業ＪＶ
新菱冷熱工業株式会社
東北支社長 松浦健一
仙台市青葉区国分町 3-6-1 電話 022-262-4524
空気と水で社会に奉仕する
黒澤建設工業株式会社
代表取締役 黒澤友晴
山形市花楯 2-9-21 電話 023-623-4222
弘栄設備工業株式会社
代表取締役社長 船橋吾一
山形市大字風間字地蔵山下 2068 電話 023-616-5651

空調設備工事
三機工業・青山工管ＪＶ
三機工業株式会社
執行役員東北支店長 藤江茂樹
仙台市青葉区一番町 2-8-10 電話 022-227-8121
より豊かな生活を創る
青山工管株式会社
代表取締役 青山伸一
山形県鶴岡市西新斎町 9-2 電話 0235-22-2261

外構工事
技術・未来への約束
沼田建設株式会社
代表取締役社長 金田孝司
山形県新庄市大字鳥越 1780-1 電話 0233-22-6811

内装木質化工事
株式会社 高木
代表取締役社長 高橋恒之
山形県寒河江市大字島字島東 87 電話 0237-86-2165

院内保育所等建築工事
愛和建設
代表取締役社長 横山隆太
山形市北町 3-9-15 電話 023-664-0068

院内保育所等設備工事
水と空気の調和
株式会社 山形企業
代表取締役 鹿野淳一
山形市小白川町 3-5-6 電話 023-641-6959